

蜘蛛の英雄学校

ノリと勢い

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

「僕のヒーローアカデミア」の世界に、蜘蛛に出来ることが大体できるようになる個性を持って転生した奴がいた。

いい感じのタイトルが思いつかなかった。

いい感じのあらすじも思いつかなかった。

シリアスは少なめです。

少なめにしたい。導入が難しい。

大体脳死で書いてます。

気軽に読んでください。

目次

オラわくわくすんぞ	1
兄弟姉妹が多すぎる件	4
個性は良いけどデメリットふざけんな	8
譲れない戦い	12
我ながらキモいと思う。	20
海で泣いていた少女	26
入学式と誕生日について	32
読書とみたらし団子と乳談義	36
某ぶどう似の同志との出会い	40

オラわくわくすんぞ

説明。

何か全部真っ白な空間に居ます、以上。
はー、まじで意味分からん。
転生か？流行りの転生なのか？
でも死んだ記憶が無いんだよ。

そこら辺の記憶がまるごと無いだけかもしれないけど多分死んで
なかったはず。

さっきから自分の手足が動かない、というか、
自分の手足の感覚がないからかなり怖い。
5分くらいは待つてるはずなのに
全っ然何も起きないんだけど・・・？

《プログラムを開始します》

うおっ!?!Σ(。□。) 吃驚した・・・
ところでプログラムってなんだってばよ？

……………黒い渦が出てきたな、何だ？あれ？
あつれれ〜？おつかしいぞ〜？

段々吸い込まれている気がするな〜
待てや、

本当に吸い込まれてんじやねえかタスケテエ！
待てって！手足が動かないんだって！

あ”あ”ゝゝゝ

そして俺は神になった。

嘘です許してくださいお願いしますう・・・
まあそんな茶番は置いといて、
俺は赤ちゃんになっていた。

言い方が可愛い？・・・黙れ、スルーしろ。

「はいはい、どうせ俺は中学生3年生になっても親の呼び方を変える時期が分からなくてパパママ呼びをしている人種ですよーやめろ、その言葉は俺に効く。で、周りはどうなっているかと言うと・・・母親に抱きかかえられていて、近くに父親がいる・・・くらいか？いや、少年二人と一歳くらいの姉妹？が居るな。あと助産婦っぽい人も何人か居る。というかさつきから自分の声がうるさい。生まれたばかりなら仕方ないのかもしれない、とにかくうるさい。止めようとしているのに全く泣き止む心配が無いし、耳元で叫ばれてるみたいで頭が痛くなってきた。・・・あれ？眠い・・・寝れそうにないけど寝れそう(?)これはやつぱり赤ちゃんだからk……………」

唐突に寝るな、赤ちゃんって。ま、良いや、まずは今の状況を知らないとな。パニックになりすぎて逆に冷静になる現象が働いているからか、結構落ち着いてるな。さて、自分の名前は思い出せない、自分の趣味はゲームと読書。これは覚えてるな。好きな食べ物のみたらし団子・・・渋いな。飲み物は・・・緑、茶？俺って実は爺さんだったりしないよな？年齢は……覚えていないか

本は良く転生モノなどのファンタジー系統を好んで読んでいたそう。この状況においてはかなり役に立つ情報だな。二次創作もそ

兄弟姉妹が多すぎる件

3歳になりました。なぜ飛ばしたかって？

人に聞くな、自分で考えられないのか？

羞恥シーンは飛ばすだろ、普通。

誰だってそうする。俺だってそうする。

飛ばさない奴がいたらそれは人に知られて興奮する変態かそれとも自分の全てが美しいとか言いそうな馬鹿だけだろ？
Q^証・E^明・D^了。

さてー、状況説明をしようか。

「赤ちゃん」時代は過ぎて、ギリギリ「子供」と言えるくらいまでは成長した。今ではもう慣れたけど、最初のうちは離乳食すら食べるのがきつくてきつくて・・・なんとさえばいいのか、赤ちゃんの舌って滅茶苦茶弱いのが。少し食べるだけで舌が痺れたり、辛く感じたりと、かなり食べづらかった。

あと、親がー・・・言いたくないけど言うか。単刀直入に言う。変態だった。

変態ってあれ？変な性格や行動をする人間の事？と思ったそこの君、当たりだ。俺の親がその変態だったんだ。

例が多すぎて一つに絞って言うのが難しすぎるが、何というかー……………、マゾヒストやサディストなどと言った異常性癖を沢山抱えているんだ・・・一日周期ぐらいではほぼ毎日ランダムで変わるから次の日の性癖も予測できない。その上、母親のが変化するとそれに合わせて父親の方も変化するから手がつけれられない。

しかもな・・・？毎日なんだよ……………ん？何が毎日かって？察してくれ。

そのせいで毎晩毎晩うるさくて眠り難くて、目の下に球磨^{クマ}が出来て同年代に比べて目つきが悪くなってしまった……………

流星に慣れるだろ、3年間こんな状態なら。

今では逆に静か過ぎると眠れなくなっただと思う。

人間の慣れってすごいね。

それと重大発表がある。

この世界が何なのか、

それがついに判明したのだ。

【僕のヒーローアカデミア】というものを、貴方は知っているだろうか。前世で読んでいた漫画の中の一つであり、俺が死んだ時までにはアニメが5期まで行っていたアニメでもある超人気作品である。

突如、発光する赤子が生まれたというニュースから始まり、そして個性を持つものが8割を占める超人社会で生まれた無個性の緑谷出久という少年とその周りを描いたストーリー・・・だった筈だ。

何故それが判明したのかという事実にあっけない話だ。

『個性診断』

2年ほど前に兄がこれを受けに行くと言っていた、ただそれだけだ。

ーーーーーそうだ、家族を教えていなかった。

母親 昆虫こんむし 変かわり ・ 元 態癖わざへき 変 28歳

個性 変態

色々な事が出来る。正確には、

『自分（の個性など）を

変える個性』の様なものである。

父親 昆虫 百鑑むかん 28歳

個性 昆虫凶鑑

昆虫の知識を覚え、

絶対に忘れない。

長男 昆虫 真切まきり 6歳

個性 カマキリ

カマキリに出来ることが

大体出来る様になる

次男

昆蟲

刺蜂しばち

5歳

個性 蜂

蜂に出来ることが

大体出来る様になる

長女

昆蟲

紫燐しりん

4歳

個性 蝶

蝶に出来ることが

大体出来る様になる

次女

昆蟲

繭娥まゆが

4歳

個性 蛾

蛾に出来ることが

大体出来る様になる

三男(俺)

昆蟲

八脚やそく

3歳

個性 (不明)

三女

昆蟲

文架あやか

2歳

個性 (不明)

四男

昆蟲

冠兜かぶと

0歳

個性 (不明)

四女

昆蟲

久鋏くすき

0歳

個性 (不明)

・・・以上がこの3年間情報を集めた結果だ。

ほぼ毎年(何とは言わんが)しているから子供が多すぎる。というかそれをするための体力からおかしい。しかもそのほとんど全てがハードなやつだ。馬鹿げてやがるぜ!!!

それと、三女と四男の間に1歳抜けているのはゴムをしていたから

だそうだ。

おかしい。もう、何か・・・おかしい。

俺も入れた3歳以下の子供衆はまだ個性診断を受けていないため
まだ不明となっている。

でも、ヒロアカの世界の個性って大体名前から予想つくから、絶対に
何かの虫の個性だと思っている。兄貴達もそうだしな。

あとは呼び名を分けたい。今のところはマキ兄や隣姉と言った様
に読みの頭2文字+兄、姉にいにしようと思っている。

んー、また眠くなってきたな。おやすみ。

またいつか会おう、じゃあの。

個性は良いけどデメリットふざけんな

どうも八脚と申します。

時の流れというのは早いもので、

あつという間に小学生になっちまったい。

ナンテコツタイ／＼(^o^)／。

つてかまた爺さんみたいな事言ってるな、

まじで爺さんじゃねえよな？

中身もまだピッチピチだよなあ!?

そうだと言ってくれよお!?

まあ、そんなこたあ

どうでも良いんすよお……………

まだ保育園児の時に幽霊みたいな女の子を見てしまったとか、自分が寝ている間に家に泥棒が入って来たとか、色々あるけどさ……………

俺が言いたいのねえ……………? ?

個性が発現したんですよお!!

やったぜうえーい!

F O O O O O O O O O O O O O O O !!!

ヤツフー!!! ヤヤヤヤヤヤツフー!!!

ヒヤアハアアアアアアアアアアア!!!

さて、狂喜乱舞をするのはやめにして……

はあ…………… (クソでかため息)

何でこんな落差が凄いのかと言うと、個性が発現したのは嬉しいけど大変なデメリットがあることが判明したので正直返却したいけどこの厨二病感が溢れる世界でそれをするのはあまりに勿体無いうえで自分の黒歴史も刺激されて物凄くわくわくしているけれどやっぱり個性返却したいなというこのジレンマが生み出すこの謎感情の吐き捨て場が見当たらずにこんな事になっっている

と言うわけですよお!!!オーケー?!?!?

……はあ、はあ、はあ、息っ、切れがあ……

順に話そう。

4歳のある日、俺は某超電磁砲^{レールガン}が出てくる異能力バトルアニメを見てたんですよ。

記念すべき第1期を。

ちなみにこのヒロアカの世界、前世であったアニメ、漫画、ゲーム、音楽……、基本何でもある。

無いのはヒロアカのグッズだとかそれくらい。ヒロアカOPの「ピースサイン」の曲好きだったから結構心にきたわ……あと「英雄」みたいな、そういう感じの曲もごっそり無くなった。俺が復活させねば……（義務感）

元の話————!!!

戻っても————!!!

良いですか————!!!!

で、まあ、見てたんですよ。あれを。

でね？あのオレンジ頭の女が超電磁砲^{レールガン}を放ったときに、テンション上がってちよつと腹に力が入っちゃったんですよ。

そしたらさ、何か横腹から触手みたいな奴が4本ドウルツて生えてきたんですよ。

いや、もう、マジでビックリした。（1回目）

もう、マジでビックリした。（2回目）

もう、マジで（ry （3回目）

いやーあれは怖かった。

初見のとき 寄生獣かな？ って思ったし。

で、個性診断を受けたんですよ。

そしたらね？ 蜘蛛 だって。

何か微妙なの来たとは思ってたけど、某赤くて黒い筋が入っているスーツを着てるスパイダーマツ！みたいだったからかなりハイ→になつてた。

初めて見た時はキモいと思ったこの蜘蛛の脚も、今ではもうスルスル出し入れできる様になった。

これどこに仕舞われてるんだろ？何なら自分の身長の2倍近く長いんだけど……

いや、考えるのやめよ。何か怖くなってきた。

で、だよ？デメリツトの話なんだが……、

まず諸君、ヒロアカの個性は親からの遺伝が影響するという事を知っているだろうか。俺の個性は蜘蛛……つまり、虫だ。して、虫は誰の影響だろう。それは、おそらく父親の『昆虫図鑑』から来ているのだろう。

—————では、問題だ。

母親の個性は何処へ行ったのだろうか？

察しのいい人はもう9割方分かっただろう。

そう、デメリットは、『変態』である。

軽く絶望したわ。俺。

譲れない戦い

「だあかああらあ、女なんかよりも男の方が良いに決まってるだろう?!?!? 男のあのムンとした香りと特有の体の良さを、どうしてお前は分らないんだよ!?!」

「何故?!?男よりも女の方が良いに決まっているでしょ!?!あの胸と尻とのバランスが!!どんなポーズをとっても女は大体様になる!!そう!これは完成された美術品であり完成品なのよ!!!なのにどうして分からないのよ!!」

ハアア、どうもみんな大好き八脚だよー

分かる、分かるよ。冒頭のあの会話は何なんだと、

そう聞きたいんだね?

シバ兄(次男)と隣姉(長女)の会話だよ。

口論を始めてもう30分くらい経つけど全く話をやめる気配がないホモとレズの会話だよ。

いや、誤解の無いように言うと、ホモとかレズとかを差別とかしているわけでは無いんだよ?でも、少しぐらいは悪態ついてても良いだろ?!だってさ!?!血の繋がった家族である兄と姉の2人がどっちも同性愛者なんだよ……? (泣)

俺はこいつらを変態だと思っている。(確信)

やめろよ……やめてくれよ……

もう疲れてんだよ……

説明しまーす。

さて、前回俺が絶望したのは覚えているか?

その理由は個性のデメリットを知ったからというのは覚えている

よな？

はい、俺が知ったのはこいつら兄と姉のせいです。
正直殴りたい。

色々と前の補足をしていくと、

・ 4歳 横腹から触手ドウルツ事件が起きる。

個性診断の後発狂して喜ぶ。

第3の目開眼。少し全体の視力が強化

第4の目開眼。暗視が可能になった

第5の目開眼。幽霊？の可視化が可能

・ 5歳 自分の家に悪の帝王が泥棒に来る。

女の子の幽霊発見事件が起きる。

(性癖ストライク)

・ 6歳 4月8日に小学校入学。

・ 9月18日に誕生日。7歳になった。

・ 10月頃に前話のエピソード。

あ”あ”ー、密度が濃すぎて嫌になるわこれー
一つずつ解説していくぞ。やったね！

4歳

横腹からドウルツ事件は諸君らも知っている通り

あの個性が判明した事件のことで、通称ドウル事件の事だ。名称は俺が付けた。

第3の目開眼は、ゲームをした後に、寝るために歯を磨きに洗面所

に行つて鏡を見たら、元々あつた2つの目とは別の新しい目が額にくつついてた、という話だ。勿論ビビツた、もう慣れた。

第4の目開眼は、夜中にゲームをした後に、妙に見やすいと疑問に思つて鏡を見たらこうなつてた。慣れてたのでそんなにはビビらなかつた。

第5の目開眼は、とある日にテレビのリモコンから白っぽい線が出てるのが見えて分かつた。多分見えないものが見えるようになるんだと思う。

ちなみにこれらの目は、どの目を開いているかでは無く、何個の目を開いているかで効果が足されていくつていう感じだった。

眼球があるなら口の中にも飛び出ているはずなのに何故出ていないのかとか、質量保存の法則無視してね?とか、そういうのは思うが言つたら負けだ。そういうのはドウル事件で既に懲りてる。

5歳

さて、おそらく皆さんは気になっているだろう。
気になつてないやつは漫画かアニメを見ろ。

……それは悪の帝王と思われる敵がうちの家に襲撃してきた事件だ。
サイラン

どちらもプロヒーローに勤めている父と母は

いだろう、……そんな生ぬるい、浅はかな考えが、奴を目の前にしただけで吹き飛んだ。

死ぬ。殺される。終わってしまおう。

何が〈主人公〉だ。何が〈死なない〉だ。

兄貴達の方がよほど勇気があって、〈主人公〉に相応しいじゃ無いか。

どうしてうちの家に来たのかは分からないが、我が兄弟の長男である真切の個性がそいつと接触した時から使えなくなった……、おそらく個性が奪われたことから、未だこの時代にはオールマイトと激戦を繰り広げておらず活動をしている、
悪の帝王、【オール・フォー・ワン】である可能性が高いと俺は考えている。

母の個性がチートだったから良かったものの、そうでなければ子供は全員死んでいたところだ。異変を察知する時間も含めて30秒で家へ帰って来るなんて人間ではない気もするが助かったならまあ良い。

……だが、

自分は〈主人公〉では無く、所詮は

【緑谷出久】という〈主人公〉を引き立てるための〈脇役〉^{モブ}だという思

考が自身を毒の様に蝕んでいた。

只それだけだ。正直それほど気にしてもいない。
確かに俺はこの世界の〈主人公〉では無く、
どこにでも居るような〈モブ〉なのだろう。

でも、俺はこう思うんだよ。〈主人公〉では無いのなら、〈主人公〉よりも目立つ〈モブ〉になれば良い、と。

〈モブ〉が〈主人公〉より目立ってはいけないと誰が決めた？ 〈モブ〉が〈主人公〉より人気になってはいけないと誰が決めた？

決められている訳が無いだろう。

てなわけで、俺はそれほど気にしていない。

もし俺が雄英高校に入ることができたならば、

それはメインキャラよりも

モブキャラが少しだけ目立ってしまっただけ。

もし俺が雄英高校に入れなかったのなら、

それはメインキャラの方が

モブキャラより少しだけ目立つ事が出来ただけ。

所詮その程度の事なのだ。

入れなかったならそりゃあ悲しいが、

それでも死んだわけでは無い。

1度でも死んだ者は1つの真理を知れるんだよ。

自分で言った事だが、皮肉なものだな。

さあ、次の件だ。

その名の通り、

女の子の幽霊の様なものを発見した事件だ。

しかも話してしまった。

しかも手を繋いでしまった。

(少し嬉しかったとかは言わない。)

しかもその子の親を探すのを手伝ってしまった。

親は見つかったけどな。

女の子と出会った時もそうだが、

「私が見えるの?」

的な事を言われたんだよ。

ちなみに、その時俺は5つの目を開いてたんだよ、

でさ、その子に「見えるの?」って言われた時に怖くて驚いた衝撃で目を2つに戻しちやっただよ。OK?

そしたらさ、消えたの。服とかも全部。

いや、消えたというより見えなくなったんだけど、幸いその子にはバレなかったけど、小さく

「ひっ…」

って言っちゃったんだよ。

あー、怖かった。まじで、怖かった。

あまり大きな声で言えないけど、

少し漏らしてしまったんですよ……………

気分は？ うん、最悪だね。

で、もっかい目を5つにして視認出来ることを確認した上で聞いてみたんだよ、

「どうしたの？」

って。

というか説明面倒だな、回想シーン入りまーす。

おまけ

シユールすぎて笑った。

下手とか言わないでね☆

いやほんとに。傷つくから。

我ながらキモいと思う。

俺は迷子になっていた。

母にお使いを頼まれ、マキ兄と燐姉と一緒に買い物に行く途中だったのだが、人の波に押されてしまうなど色々あつてはぐれてしまったのだ。

この辺りにはあまり来たことが無いから道も殆ど覚えていないし、携帯電話やスマホも当然持っていない。

(ヒツ……知らない所怖っ………)

そして俺は、知らない場所が大の苦手であった。

(え、え、どうするの???!119?110?駄目だ電話持つてねえやべえよやべえよとりあえず海行くか(?)とりあえず海行つて待つていればきつと来るよねそうだよねというか何で手を繋いでなかったの馬鹿なのふざけんなよ見晴らしのいい海に行けばきつと見つけてくれるはずだよなまた敵とかに出会つたら今度こそ洒落にならねえぞああ今4時くらいか2時間くらいで暗くなってしまふそしたら見えにくくなってさらに見つけられなくなってしまふかもしれないやばいどうしよう海だよ海に行くんだよ落ち着けもちつけ深呼吸だ俺)
「すう~~~~~~~~はあ~~~~~~~~」

よよよ良しこれで大丈夫だ、

うう海へ行けばきつと何とかなるさ、うん

海へ来た。誰も居ない。

やめてくれよ空暗くなって来たじゃんか……

一人は怖えよおお………

待て!!!人が居たぞ!!!!

落ち着けて俺。

良し、ここは静かに近づくんだけだ。

あくまでも迷子になってしまっただけで、

太ももとは人間の腰から膝にかけての絶妙な脂肪量と筋肉量が合わさって生まれ出る絶対領域でありその魅力は多くの人間を虜にする。女性のポテンシャルやステータスの内のひとつでありその部位ひとつだけでも添い遂げる価値のある究極の領域でもある。数ある太ももに関係する事象の中でも特に目を引くのは女性にされたら勝ち組までも言わしめる膝枕であり、それは奇跡の柔らかさと少しの硬さがマリアージュして生み出されるまさに人の創る世界であ

何言ってるんだ俺はあああ
!?!?

落ち着け。

いや、マジで落ち着け。

……………何だ今のは？

待て、今はこの少女の事の方が先決だ。

少女の方を向くともう一度太ももが目に入る。

太ももとは人類の歴史と言っても過言では無いと言えるだろう。それは自国の民を尊び養う柔らかさという優しさと他国の国々を敵対し攻撃し、自国の糧にするという硬さという冷酷さの2つの、全く別々であり正反対ですらある両方の性質を兼ね備える両面性を使い生き抜いてきたとい
やかましいわ!!!

ホント何なのこの意思!?

滅茶苦茶太もも推してくるんだけど!?

(。 彡) ハッ！

……………完全に理解した。

これ、多分個性のデメリットだ。

そう、俺は見ていたのだ。

シバ兄がどんどんホモ色に染まって行くのを……
隣姉が、どんどんレズ色に染まって行くのを……

悲しみながらも、生暖かい目で見ていたのだ……

だからこそ分かる。個性のデメリットだと。

ああアアアアんまアアアアアアアアアアアアアア

H U ☆ Z A ☆ K E ☆ R U ☆ N A ! ! ! !

誰が(デメリットを)創ってくれと言った！

誰が(デメリットを)創ってくれと頼んだ！

私はこの世界の(デメリットの)全てを恨むウ……

いや、強いんだろうけどさ、蜘蛛。

きつと強いんだろうけどさ、個性。

デメリットに「変態」は無いだろ変態は!?

せめて付けるにしても普通のやつにしてくれよ！

Oh No……………

ふざけんなよ……………

もうツツコむ気力が無くなってきたわ……………

お家帰りしたい……………

とりあえず話しかけるか。

「いんなところすわって、どうしたの？」

うん、噛まずに言えた。上々だ。

八脚C『Dはもつと喋った方が良いですよ?』
八脚E『…分かった、負けだ。俺も認めるさ。』
八脚オリ『確認を行う!意義はあるか!!』
八脚ABCDE『』『』『異議なし!!』『』『』

惚れたわ。え?冗談抜きで可愛いんだけど?
嫁にしている?

………待つて、この子、泣いてる。
というか涙を流している。

え?俺何かやっちゃいました?(ガチ焦り)
あ、今この子の口動いた。喋るか?

「あなた、わたしが………、見えるの?」

………ん?

「やっと………見られた………っ」

待て待て待て待て!ちよつと察して来たぞ!?
これ………

「………ひぐつ、ぐすつ、えぐつ………」

これ、ホラー展開っすか?

海で泣いていた少女

あー、確かに見えない物の色だわコレ。
いくらか落ち着いた俺は、隣に座り静かに泣く女の子を観るゲフン
ゲフン 考察していた。

そういうやテレビのリモコンから出てたあの光と同じ感じがするな。
そう、俺が5つの目を開いている状態だと、人間の目には見えない
筈の赤外線等の光を、白黒のモノトーンでだが見ることが出来るの
だー。

先程取り乱した時に2つ以外の目が閉じてしまい、急に女の子の姿
が見えなくなり消えてしまった事でとても情けない声が口から思わ
ず漏れたが、まあ良しとしよう。

そんなことよりこの子の事だ。

俺はこの子にまだ何も（おそろく）していない筈なのだ。というか
元から泣いていた。

いや、まあ、多分幽霊なんだろうけど。

正直めっちゃ逃げ出したいけど。

でもさ、今から投げ出したら

何か呪われそうじゃん？

俺ってそういうのかなり恐れるタイプだからさ、逃げるに逃げられな
いんだわ。うん。

まあ、とりあえず何で泣いてたか

聞いてみるか……………はあ、気が重い……………

「なんでないてたの？」

「……………おかあさんと、はぐれちゃって……………」

「ダアニイ!? 君も同じだったのかい？」

（悪）運命感じちゃうなあ。

「……………いっしょにさがしてあげようか？」

「!……………いいの？」

「うん！」

「~~~~!ありがとう。」

おー、やつと笑ったk

待って破壊力がヤバい。エグい。

心臓に何かこう……グサツてくる感じがする。

こういうのを〈尊い〉と言うのか。

なるほど教えてえ。

「いえは、どっちにあるかわかる?」

「わからない、けど、たぶん、こっち。」

俺が来た方と逆側か……そっち側行ったらさらに迷う気がする

けど仕方ない。父と母に任せよう(他力本願)。

「じゃあ、いこう。………どうしたの?」

この子歩かないぞ?

「また、はぐれるの、こわい、から」

ヴツ!(尊死)

おどおどしながら手を出すのやめてくれよ。

いややつばやめないでくれよ。

「……………わかった、はい」

手え繋いじやったよ。

今、全力で口の中噛んで表情筋固めてる。

少しでも油断したら絶対にキモい顔になる。

大幅カット。2時間経過。現在6時。

いつもの如く何の成果も得られませんでした。

馬鹿げてやがるぜ!!

2時間だぞ? 2時間。ブレワイなら

ハイラルを5回は救えるくらいの長さだぞ？
何故見つからん。

「つか、れた」

俺も頑張ってる。だから頑張れ。(無茶振り)
シジミもトウルルって頑張ってたからさ!!

「がんば、れ」

子供の姿ってマジで不便だと思った。

ちよつとの運動でもすぐバテる。

その分体力も早く回復するけど、

辛いのは変わらん。

えー、只今ベンチに座って休んでおります。

何でもない普通のベンチが道の脇にあったんで

二人で座ってる。

これを誰かが見たらリア充だとか思われそうだよなあ……………でも

なあ……………片方幽霊で両方迷子でかなり死活問題なんだよなあ

……………

日が暮れてきたから実はかなり焦ってる。

この子、今は滅茶苦茶おとなしいけど、

日が沈んで夜になったら

凶暴化するタイプの霊だったら終わる。

人生が終わる。怖っわ。お家帰りたい。

何で2時間探して見つからない

「あ……………お、かあ、さん？」

……………は？

「おっ、おかあさん……………!!」

あ、走ってった。

……………は？え？何で？見つかったなら良いんだけど2時間の苦勞

は？俺の苦勞はどこいった？

……………うん、まあ、あの子笑ってるし、良いか。

あの子の笑顔が報酬だ。(キリッ)

「うつ、ひぐ、おか”あ、さ”ん……………」

あ、合ってたっばい。

人違いとかじゃなくて良かった……

というか、母親は服の部分は色ついてるから実体なのか？いつの間にか周りに人いなくなってるし、どっちでも良……………」

……いなくなってる？

ひい……………いや、待って、怖い怖い怖い。

マジもんの心霊現象じゃねえか何だこれ……………」

「あ、あの、あり、がとう！」

やめろ。

いや、お礼を言われるのは普通に嬉しいんだよ？

嬉しいけどね？でもさ？

幽霊にお礼を言われるのはフラグなんだよ!!!

というかもう引き止めるなよ。

完全にそういう感じの雰囲気だったろ？

良いよ別に成仏シーン見なくて。

人型が消えてくとこなんか見たくないよ。

見たとしても鬱になるだけだからさ、な？

家に返しておくれよ。

何だ!?!この世界で霊媒師でもしろってか!?

俺はヒーローになって人気になって、

安定した収入を得たあと隠居して

ゆっくりのんびり過ごしたいんだよ分かったか!

「どう、いたしました」

だが礼を言われたら言い返す。
俺はやられたらやり返さないと後々気分が
モヤモヤして気分が悪くなつて来るんだよ。
この性分を捨てたいと初めて思ったわ。

「な、なまえは、なんていうの?」

更なるフラグぶつこんできやがった

幽霊から名前を聞かれる。これもフラグだ。

「……………やそく」

まあ、言っちゃうんですけどね。

俺はこの性分を恨む。

もういいや、全力で逃げよう。

もうフラグは十分集めてしまった。

逃げてても大して変わらんのだろ。

あと!とにかく!!怖い!!!

どこぞのスパイダーマ!の様に手首の辺りから発射した糸を使つて並ぶ家の上まで一気に上がる。

そこからはあとは糸を撃つて、自分をそちらに引き寄せてから糸を切り離すのを繰り返すだけだ。

後ろを振り返る。

よし!ちゃんと成仏していなくなつてる!

つかビルの上に登れば自分の家の場所

分かるんじゃない?俺天才。

自宅に帰り、遅くなった事情は友達と遊んでいたからと嘘をついた。すぐバレるだろうが、幽霊を見たと自分から言うのは何かちよつとヤバイやつみたいなき感じがあるから無理だった。

それから俺は誓った。

「海には一人でもう行かない」と……

ちなみにマキ兄と隣姉はさつさと家に帰って

呑気に毛糸のカービィをしていたらしい。

少しは心配しろや。

はい、というわけで、

今俺は小学校の入学式に出席しています。

思えばここまで長かった……兄弟をこれ以上増やさせて分かりづらくさせないためにゴムとかをさり気なく取りやすいところに移動させておいたり、兄弟姉妹達の性癖論争を毎回止めたり、とにかくとにかく、滅茶苦茶疲れた。

そしてーーー、

やっと小学生になることができた。

小学校時代は大切だ。他の時代と比べて、

自由に過ごせ、自由に遊べ、

………黒歴史が、増えやすい時代。

それらを俺は知っている。『前世』という類稀たぐいまれなる、他とは違う知識を持っている。

他がゆつくりと生成し、成長させてゆくはずの【精神】を、『前世』の記憶で持っている。

ならば俺がこの時代にすべきことは何か。

子供でありながら持つ高度な精神性と知識、

その絶対的なアドバンテージから得た案は……

ロールプレイキャラ作である。

俺の理想の小学生像は、

〔身長は平均でやや軽め、

色々な事に興味を持ちやすく、

運動もそこそこ得意な

読書とゲーム好きの少年」だ。

どうだ？先生からの好感度もかなり高そうで、
それでいて他の生徒（主に女のk）ン”ン”ツにも
かなり人気が出そうなキャラ……良くてね？

思えば、前世の小学生時代は黒歴史の宝庫だった
イキり倒し、面白くない下ネタで笑い、
他にも色々あつて……

だから、今世は恥をかかないようにしなければ。
そうおもうと、ケツイがみなぎった。

まあ、そんなこんなで入学式。

長い長い校長の話を聞き流しながら
くっだらな事を考えている。

どこの世界も校長の話は同じ様なものか……
少し感慨深いな……

いや、校長の話で感じる感慨って何なんだよ。
何処か残念だな。

………よおっし！終わったな！
帰ってWiiでもやるか!!

理解はできたかー？

言っておいてなんだけどね、
特に何があつたとかでは無くてね、

とりあえず報告しよう、みたいな感じ。うん。
分からない？分かれ。(強制)

で、誕生日の話なんだが、
何もなかった。

そう、何もなかったのだ。

あ、祝われなかったという意味ではなくて。
ちゃんとしっかりと家族全員に祝われ、
ケーキが一番好きな、ポップディングシャワーか
なんかのアイスケーキも買って、
食べさして貰えて、文句は無いんだよ。

でもさ……………、
なんか……………ねえ……………、

変態行動があ……………、無いんだよなあ……………。

問題ないんだけどね、うん。

だが…………… いつも、毎日、一日中…、
奇抜な行動を繰り返す

家族の全員(4〜0歳は除く)が一人も
その行動をしないのだ。

なまじそんな行動に慣れてしまっているから、
家族が静かに落ち着いていると少しうずうず
してしまうようになってしまった……………

……………慣れって、怖いなあ……………

読書とみたらし団子と乳談義

いつもの様に本を読んでもす、はい。
はい、することなくてつまらん。

スマブラでもやれば良いんだろうが、兄や姉が占領してるからどうもお願いしにくい……しかも丁度四人でプレイしてるからその輪を乱すのも気が引けるなあ……

よし、読み終わった。

次は何を読もうか………

ガチャツ

「ただいま〜」

あ、父さんが帰って来た。

頼んだやつ買ってきてくれたかな……

みったらっし団子♪みったらっし団子♪

フウ→→

つついついスキップしちまうぜえ〜

「おかえり、なさい」

「おお〜！玄関まで来れて偉いねえ〜、はい、みたらし団子だよ〜、よく噛んで食べてね。」

ヒューー！美味そうだ！

待ちきれねえぜえ!!!

開っ封!!

はむっ

むっ!!!??
んん!!、おいしい〜〜!

この団子の餅に塗られたみたらし団子でしか味わうことの出来ない、この特有の蜂蜜の様に甘く、それでいてしつこすぎない特別なタレ……

そして、今日父さんに買ってきてくれと頼んだのは江戸時代から伝わっている味を持つという超老舗、【永遠亭】のみたらし団子なのだが……これの焼き加減がまた絶品なのだ。

滑らかな舌触りでいながら程よい弾力を持つて仕上げられているこの餅部分も魅力……

ああ、美味しい……死んでも良くは無いが、それほどまで価値の有る一品だ。

※個人の感想です

「今仕事から帰ったぞ皆の衆うううう!」

誰だ、この至福の時間を邪魔する者は!

……何だ、母さんか……

「帰ってきたか変いー!」

嗚呼………、父さんがまたハイテンションに……

うつわベロチューしてやがる

大丈夫だ……視界に入れなければ精神的ダメージを負う事は無い……もうやめて!俺のライフはもう0よ!

あ”あ”あ”あ”あ”あ”あ”あ”あ”あ……

前世のっ、前世の記憶が悲痛な声を上げているウウ!ヤメロオ!俺をリア充を見せつけるなア!!目が焼けるウ!

は形の汚い太ももの女性が多いんだな。俺貧乳派に改宗するわ。

※個人の感想です

「さーて子供達ーイ」

何だうぜーなこいつよお…

相手をするのが面倒くさいよ…

…なんかスンツって真顔になったんだが？

まさかこいつ心をつ！

「コミケ、行くぞ。」

この親父は何を言ってるんだ？

「うえへへえ……こすぷれえ……」

賢者化してる。気持ち悪い目つきだなオイ。

お前その精神他の子供より成熟早くねえか？もつと他の事にも活かせないんか？

つかコスプレの良さ分かん流石だなお前。

そいつが眺めているのは目線から察するに恐らく猫耳メイドの胸部だろう。うわデッツツ（恐怖）

やはり実は実だったか……

それはそうとして目的がある。

「なあ、ぶどう。」

「……おいらのことか？」

「そう。」

「あとにしてくれよお、おいらいまいそがし……」

「むねをみることに、か？」

「……!!!」

「すぐにわかったさ。めせんぞな。」

「まさか……おまえ……」

「ああ、そっちがわ、だ。」

「おまえ……!!!」

「そんなぶどうにふともものすばらしさをおしえてやろうとおもってな。きよにゆうにはないみりよくがあるぞ。」

「へー……ざんねんだが、おいらはきよにゆうにしかきょうみないんだ。

そうだ。きよにゆうのすばらしさをおしえてやろうか？」

「いやふともものほうが」

「いやきよにゆうのほうが」

「おまえひんにゆうはにけんかうってる？」

「うってるもなにもおいらきよにゆうはだし」

「ひさびさにきれちまったよ……」

「おもてにどうぞ……」

「ここがおもてだぞ」

「どうでもいいんだよ!!!」

「うおっ、出会ったばかりなのにもうこんなに仲良くなって……」

そう、それはこいつとの友情を育む事。

何を隠そう俺は雄英高校を目指している。勿論既に前世の比にならないぐらいに勉強はしているしこれからも絶対に続けようと思っている。

その上で出てくる問題が友達とあんまり仲良くない現象である。勿論原作での1年A組の面々は一部を除いて皆優しいが、それとは別に俺がちよくつとばかしコミュ症気味なのである。

小学校（現在5年生）ではいまだに友達と呼べる友達がおらず、勉強を続けて成績がほぼ満点なせいでイメージ的には高嶺の花的な存在として位置づけられてしまい寄ってくる人間は居れども性癖を晒せるくらいの気軽な友人が居ない!!

これは由々しき事態!!!

という事で、そういう意味ではあまり緊張しない……というかこいつの前で緊張できるケースの方がレアだろくらいのこの峰田実が初エンカで良かったのかもしれないと今更ながら思い至る。

なんか俺思考がワntenポ遅いんだよな……

ま、頭より先に体が動いていた（蛮勇）って事で！

………に、しても………

峰田、マジで原作の姿と変わらん……

いや時系列的には今が過去なんだけども。

なんかの障害患ってんじゃないかと疑えるほどの低身長と寸胴体型………小人症………?

とはいえ小学生未満に言う言葉じゃないか。

でも正直俺もこのままの成長曲線辿ると高校生時点で160行かないんだよな……

なんでだよでかい蜘蛛も居るだろ!

いや小さい蜘蛛の方が多いですねすまん。

「みんな〜!!帰ったわよ〜!!!」

なかなか豊作で…あと同士見つけたわ。

こちら、峰田さんよ。」

「あ、こんにちはつてあなた!?!」

「え、もしやこの人峰田さんの夫ですか!?!」

「ええ、夫も昆虫さんの夫さんと一緒に居たとはとんだ偶然ですね…!!!」

「そうだ!もつと語りたいですし連絡先交換しません?しましよようよ!!!」

「了解です!!!」

スピード感よ。

というかうちの母の個性すつごい。

あ、能力じゃない方の個性な。

濃すぎんだろ……

「んじや皆帰るわよ〜!!!いざ車!」

「えっあつ、では、サラバダー!みのる!!」

「お・るぼわーる……だやそく。」

じゃあまた高校生になったらな!!!

イテキマース